

かみたてかみいわ うらかいがん
上立神岩と裏海岸

所在地：南あわじ市 沼島



上立神岩



沼島の地層



沼島の海岸美



鞘型褶曲 出典：南あわじ市 HP

沼島は、淡路島本島から 4 km しか離れていませんが、日本中央構造線の大きな断層上にあり、本島とは全く異なる結晶岩でできています。紀伊水道、大阪湾に面する沼島周辺は、奇岩や岩礁があふれ豊かな自然景観を望むことができます。

その中でも、沼島裏海岸にある上立神岩は、沼島の地質をよく表しているだけでなく、伊弉諾尊（イザナギノミコト）と伊弉冉尊（イザナミノミコト）による国生み神話伝承の地として、古くから地域の方に親しまれてきました。

また、沼島では、平成 6 年（1994）同心円構造の鞘型褶曲が発見されており、地殻内部の動きがわかる世界的にも貴重な資料となっています。

- 【景観の特徴】 ✓ 自然がつくりだす景観
 歴史がつくりだす景観
 生活・文化がつくりだす景観
 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原ICから、県道31号線、県道76号線を南下し、土生港へ。土生港から船で5分、沼島港。沼島港から徒歩で15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図